

下半期の主な文化芸術施策の取組について

1 「はちのへアート広場」ひろば交流会の開催

- （3回目）テーマ：オルタナティブな文化拠点・活動とその可能性（案）

日時：調整中

場所：未定

内容：市内では、これまでの文化活動や公共の文化施設とは異なる、型にはまらない、新しい分野、異業種との交流などにより、個性的な取組を行なう新しい文化拠点・活動が生まれている。

それらの主宰者が日々何を考え、何を目指して活動に取り組んでいるのか話を伺う機会を通して、当地域における新しい文化芸術活動の可能性と発展について考える。

参加対象者：文化活動団体、一般市民、中心商店街店舗経営者、まちづくり関係者

- （4回目）テーマ：誰もが文化芸術を創造し享受することができる環境整備を巡って（案）

日時：令和6年3月ごろ

場所：未定

内容：文化芸術基本法の基本理念では、年齢、障がいの有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるような環境の整備が図られなければならない旨が明記され、また、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」も整備されました。

このようなことから、例えば、鑑賞の敷居が高いと思われがちなクラシックコンサートや美術館の展覧会などに、障がい者及びその支援者が気兼ねなく参加できたり、障がい者が持つ個性への理解を深める文化プログラムの実施など、福祉と連携したノーマライゼーションの取組についてなど、制限なく誰でも気軽に文化芸術に親しめる機会の創出には何が必要なのか、知見を深めます。

参加対象者：障害者支援団体、福祉関係者、障害のある方、子育て中の方、幼稚園・保育園関係者、文化活動団体等

2 はちのへ文化のまちづくり推進補助金（文化芸術活動に対する支援メニュー追加）

八戸市内の個人または市内に本拠を有する団体が実施する文化芸術活動を支援することにより、市内の文化芸術活動の活性化を図るほか、市民の文化芸術に親しむ環境づくりを進めることを目的とする

【補助金額】

500,000円（1個人又は1団体につき上限100,000円）

補助金額の算出は、補助対象経費又は100,000円のいずれか低い額

【補助対象事業】

多様で特色ある文化芸術活動（次表）、または、はちのへアート広場において、参加者相互の交流やネットワーキングから派生したスタートアップ事業で、いずれも市内で行う事業

多様で特色ある文化芸術活動

分野		対象活動
芸術	文学・美術・音楽・演劇・芸能・舞踊・写真・茶道・生花等	創造・普及・育成に繋がる展示・公演活動等
学術	人文科学・社会科学・自然科学等	普及・育成・伝承に繋がる活動等
伝統文化	民俗芸能、民俗行事	地域固有の伝統文化の保存・伝承・発表活動等

【選考方法】

補助金交付の可否については選考委員会を開催し決定

3 地域情報誌を活用した文化芸術情報の発信

中心街で開催される文化芸術情報を効果的に市民に発信するため、飲食情報誌の「はちのへ中心蔵ウエル」に、概ね11月から翌年4月までのイベント情報等を掲載。掲載ページは、見開き中面4ページ程度

【対象施設】

八戸ポータルミュージアム、美術館、ブックセンター、更上閣、南部会館、市公会堂、市公民館

【はちのへ中心蔵ウエル情報】

発行日は年4回（2/10、5/10、7/10、11/10）※今回は11/10発行

配布戸数は約9万部（うち八戸市内は約73,000部）

※参考 市内世帯数 約108,000世帯

4 日本全国 能楽キャラバン！ In 八戸及び鎌倉能舞台ワークショップの開催

文化芸術の重要性や魅力の発信・体感を通して、新型コロナの影響で大きく傷んだ鑑賞環境を元に戻すとともに、地域の文化芸術の振興を推進することを目的として開催。

また、日本の伝統芸能である能楽の普及、振興及び伝統芸能への造詣を深める機会の提供を目的とし、市内の中学生を対象とした能・狂言のワークショップを開催。

※文化庁による文化芸術振興費補助金

（統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 アートキャラバン2）

○「日本全国 能楽キャラバン！ In 八戸 -三社大祭のヒーロー 頼光と四天王-」

開催日時 令和5年11月8日（水） 18:00～

場 所 八戸市公会堂大ホール

主 催 公益社団法人能楽協会 公益財団法人鎌倉能舞台

内 容 講演、仕舞、狂言、能、質疑応答

「鎌倉能舞台ワークショップ」

開催日時 令和5年11月8日（水） 15:00～（予定）

場 所 八戸市公会堂大ホール

主 催 八戸市、株式会社アート&コミュニティ（八戸市公会堂指定管理者）

内 容 鑑賞、講演、体験

参 加 者 八戸市立第二中学校全校生徒 約280名

5 リージョナルシアター事業の実施

一般財団法人地域創造より演劇の表現者（演出家）を公共ホールに派遣し、演劇の手法を使ったワークショップを実施するもの

開催日時 1回目：令和5年8月10日（木）、8月11日（金・祝） 10:30～15:00

2回目：令和5年12月9日（土）、12月10日（日） 10:30～15:00

会場 南郷文化ホール

参加者 市内及び近隣の高校生 24～25名

派遣アーティスト

ごまのはえ氏（劇作家・演出家・俳優、ニットキャップシアター代表）

主催 八戸市、株式会社アート&コミュニティ（八戸市南郷文化ホール指定管理者）

共催 一般財団法人 地域創造

《八戸ブックセンター》

6 ギャラリー展 羽仁もと子 生誕150年記念「羽仁もと子とわれらの研究室」の開催

日本初の女性記者として活躍した羽仁もと子。彼女が創立した雑誌「婦人の友」は「われらの研究室」と呼ばれ、読者と実験を重ねながら今日まで歩んできました。羽仁もと子の生誕150周年を記念し、彼女の功績を振り返る展示を開催。ブックセンター内では、展示と合わせ、関連書籍や雑貨の販売も実施。

開催期間 令和5年12月2日（土）～令和6年2月25日（日）

場所 八戸ブックセンターギャラリー

7 「生誕320年・没後260年記念 安藤昌益フェスティバル」の開催

江戸中期の独創的思想家として知られる安藤昌益。八戸の町医者だった彼は、封建の世にあって徹底した平等思想を説き、男女が助け合い田畑を耕す「直耕」を唱えたことで知られています。安藤昌益の生誕320周年、没後260年を記念し、多くの方に彼の思想に触れていただくイベントを開催。

開催内容 (1) シンポジウム

日時：令和6年1月7日（日）14時～16時

場所：はっち2階シアター2

ゲスト：管啓次郎（詩人、比較文学者、明治大学教授）、木村友祐（小説家）、山内明美（宮城教育大学准教授）

(2) 一人芝居「出立（たびだ）つ日」公演

日時：令和6年1月8日（月・祝）14時～15時30分

場所：市公民館（公会堂文化ホール）

出演：柗谷伸夫

8 書評家・杉江松恋さんトークイベントの開催

書評家として活躍中の杉江松恋さんをゲストにお迎えし、ミステリーを中心とした読書の楽しさを伝える、スペシャルなトークイベントを開催。イベント翌日には、高校生を中心に若い世代を対象とした、執筆に関するワークショップの開催も予定。

開催日 令和6年3月16日（土）14時～

場所 はっち1階はっちひろば

ゲスト 杉江松恋（書評家）